

第 50 回「水の日・水の週間」実施方針

1. 共通の取組

令和 8 年度は「水の日・水の週間」が第 50 回の節目を迎える。50 年積み重ねた我が国の「水」に関する取組を振り返るとともに、次世代に向けた展望を語る契機とする。

第 50 回の共通テーマは「次世代に引き継ごう『健全な水循環』～治水・利水・環境の調和～」とし、「健全な水循環」について国民が改めて考える契機とするとともに、令和 6 年 8 月 30 日に閣議決定された「水循環基本計画」において展開していくこととされた「流域総合水管理」をキーワードとして継続する。

第 50 回を迎える機運を、様々な取組において醸成する。

2. 水循環政策本部の取組

(1) 水の未来を考える国際シンポジウム（水の週間中央行事）

- 日 時：令和 8 年 7 月 28 日（火）9:30～12:15
- 場 所：日本科学未来館（東京都江東区青海 2-3-6）
- 開催方法：会場（招待客及び団体推薦のみ）
- 主 催：水循環政策本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会、水と災害に関するハイレベルパネル（HELP）※、国際連合地域開発センター（UNCRD）
- 協 力：（独）水資源機構、土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター
- 収容人数：292 人
- 内 容：「水の日・水の週間」第 50 回を記念した特別シンポジウム。1977 年（昭和 52 年）に 1 回目の国連水会議が開催され、2026 年 12 月には 3 回目の国連水会議が開催されることを受け、2026 年が国連水会議と「水の日・水の週間」の両者の節目に当たることを踏まえて開催する。年々拡大する気候変動による水リスクの課題がある中で、リスク削減と同時に持続可能な社会づくりに向け、世界各国が取り組むべき、治水・利水・環境を踏まえた包括的な水管理のあり方について議論を行う。

①主催者あいさつ（HELP 議長、水の週間実行委員会会長、水循環政策担当（国土交通）大臣、東京都（知事））

②基調講演

③ハイレベルパネルディスカッション

※ 水と災害に関するハイレベルパネル（HELP：High-level Experts and Leaders Panel on Water and Disasters）は、水災害軽減に向けて、各国・国際機関による協調した取組を強化するための情報や認識を共有する場であり、ハン・スンス韓国元首相を議長とし、国土交通省の他、米国陸軍工兵隊、オランダ・インフラ水管理省、インドネシア・公共事業国民住宅省、国連防災機関、ユネスコ、世界銀行、アジア開発銀行等の代表から構成されている。

(2) 水を考えるつどい（水の週間中央行事）

- 日 時：令和 8 年 7 月 31 日（金）14:00～16:45

- 場 所：ニッショーホール（東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館）
- 開催方法：会場
- 主 催：水循環政策本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会
- 後 援：文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、（独）水資源機構、
（公財）日本科学技術振興財団、NHK、（一社）日本新聞協会
- 収容人数：1,000人
- 内 容：テーマ「次世代に引き継ごう『健全な水循環』～治水・利水・環境の調和～」
 - ①主催者あいさつ（水循環政策担当（国土交通）大臣、水の週間実行委員会会長、東京都（知事））
 - ②全日本中学生水の作文コンクール表彰式
 - ③作文コンクール最優秀賞作文朗読
 - ④全日本中学生水の作文コンクール受賞者交流会（別室・皇族ご臨席の場合）
 - ⑤元宇宙飛行士 毛利衛氏による講演及び「流域総合水管理」をテーマとした講演、東京都による取組紹介、水循環に関する民間企業の取組紹介（先方内諾済）
 - ※④及び⑤は同時進行を想定。
 - ⑥パネル等による展示（流域治水に関する資料、水循環企業登録・認証制度に関する資料、水の作文コンクール優秀作品、水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品）
- その他：皇族のご臨席予定

（3）第48回全日本中学生水の作文コンクール

- 内 容：次代を担う中学生を対象に「水について考える」をテーマに普段何気なく使っている水についての関心を高め、理解を深めることを目的とした作文コンクールを開催し、優秀作文は表彰状を授与する。今回から応募者全員に参加賞として募集ポスターと同様のデザインのクリアファイルを贈呈する。
- 主 催：水循環政策本部、国土交通省、都道府県
- 後 援：文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、全日本中学校長会、（独）水資源機構、水の週間実行委員会

- スケジュール：令和7年12月12日（金） 募集依頼、ポスター作成、配布
 令和8年5月29日（金） 募集締切
 令和8年6月26日（金） 中央審査会
 令和8年7月下旬 受賞者決定（プレスリリース）

〔一日事務所長体験〕

- 日 時：夏休み期間中（受賞者との調整）
- 対 象：水の作文コンクール優秀賞以上の受賞者のうち希望者（保護者も同伴）
- 場 所：受賞者住地域の地方整備局又は（独）水資源機構等のダム管理事務所
- 内 容：ダムの管理事務所等で1日事務所長を体験（堤内巡視、湖面巡視等）

（4）「水の日」ポスター

- 内 容：「水の日」のポスターを約2万枚作成し、国及び地方公共団体並びに委員団

体等、全国各地での掲出を依頼する。

※令和7年度と同様、ポケットモンスターの「シャワーズ」と2026ミス日本「水の天使」を起用

(5) 「水の日」PR動画の公開

○内 容：「水の日」PR動画を作成し、「水の日」の機運を高める。

PR動画は国土交通省YouTubeチャンネルでの公開のほか、地方公共団体及び委員団体等にデジタルサイネージでの放映を依頼する。

※令和7年度と同様、ポケットモンスターの「シャワーズ」と2026ミス日本「水の天使」を起用

(6) 「水の日」応援大使「シャワーズ」の派遣及びフォトパネル・スタンプの貸出し

○日 時：7月～8月

○場 所：派遣3か所程度、貸出し4か所程度を予定

○内 容：「シャワーズ」（きぐるみ）の全国の地方自治体等の「水の日」関連行事への派遣及びフォトパネル・スタンプの貸出しを行うことで、「水の日」関連行事の実施効果と水の日の認知度を高める。

※フォトパネルの損傷状況を踏まえ、フォトパネル一式のデザイン変更・更新を行う。

(7) ブルーライトアップ

○実 施 日：令和8年8月1日（土）～8月7日（金）夜

○場 所：令和7年度は、199か所で実施

※館山城（千葉県）、土師ダム（広島県）ほか

○内 容：施設をブルーにライトアップ

※内閣官房水循環政策本部事務局、水の週間実行委員会及び都道府県が各所へ協力依頼を行う。

(8) 政府広報

○内 容：政府広報の媒体、SNS等による「水の日」広告の実施

○期 間：令和8年7月上旬

3. 国土交通省の取組

(1) 令和8年度水資源功績者表彰

○日 時：令和8年8月4日（火）

○場 所：合同庁舎第3号館8階特別会議室

○内 容：水資源行政の推進に当たって、水源地域対策、水環境の保全、水源涵養、水資源の有効活用等に永年にわたって尽力されたことなど、特に顕著な功績のあった個人及び団体に国土交通大臣表彰

※7月下旬 受賞者決定（プレスリリース）

(2) 「こども霞が関見学デー」への出展

○日 時：令和8年7月29日（水）・30日（木）

○場 所：合同庁舎第3号館10階共用会議室

○内 容：水の重要性、貴重さなどの理解を深めるプログラムの提供

(3) 国土交通省内パネル等展示

○日 時：令和8年7月上旬～8月中旬

○場 所：合同庁舎第3号館1階展示スペース

○内 容：水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品、水の作文コンクール優秀作品、水資源功績者功績概要、「水の日」PR動画の展示

4. 水の週間実行委員会の取組

(1) 水の日・水の週間第50回記念動画等の制作と公表（水の週間中央行事）

○内 容：戦後の水に関するガバナンスの発展を中心に、日本における水管理の歴史と実績についてまとめた動画（日・英）を制作し公表する。また、国際シンポジウムの実施報告書を作成し公表する。

○公表期間等：記念動画は、水の未来を考える国際シンポジウムにてお披露目の後、水を考えるつどい、水のワークショップ・展示会等での放映のほか、ホームページやYouTube等で配信し効果的に活用する。実施報告書については令和8年10月を目処に公表する。

(2) 水のワークショップ・展示会（水の週間中央行事）

○日 時：令和8年8月5日（水）

○場 所：KITTE 丸の内 地下1階 東京シティアイ

○主 催：水循環政策本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会

○内 容：委員団体等によるブース出展、2026ミス日本「水の天使」の出演を予定

(3) 第41回「水とのふれあいフォトコンテスト」

○内 容：WEBエントリー方式で実施予定

○募 集：令和8年4月24日～令和8年5月31日

○公 表：令和8年7月31日（金）水を考えるつどいの会場で入賞作品のデジタル展示。入賞作品のSNSによる発信及びイベント会場での展示及び活用

(4) 上下流交流支援

○募 集：令和8年4月～令和8年6月24日（水）

○内 容：公募を行いダム水源地域等の上下流住民の交流を促進する活動に対し、1件あたり10万円を限度に20団体程度に対し助成予定。令和7年度は18件の活動を助成

(5) 協賛団体等への支援

○内 容：各協賛団体や協賛団体に参画する構成団体に「水の日・水の週間」の取組を紹介するとともに、PR動画を提供するなど、協賛団体等が行う「水の日・水の週間」の啓発活動を支援する。また、水の週間中央行事において、協賛団体等の取組を紹介する機会を設ける。

(6) ホームページ及びSNSによる情報発信

○内 容：今年度は第50回であることを踏まえ、水の日・水の週間の取組等を積極的

かつ効果的に発信する。

5. 地方公共団体及び委員団体等の取組

(1) デジタルサイネージ等を活用した広報

- 日 時：令和8年7月～8月
- 場 所：新宿駅西口周辺デジタルサイネージ等及び渋谷駅スクランブル交差点等
(東京都予定)
- 内 容：「水の日」PR動画等を放映し普及・啓発を図る。

(2) 「水の日」関連行事の実施

- 日 時：令和8年7月～8月
 - 主 体：地方公共団体及び委員団体等
 - 内 容：「水の日」の趣旨にふさわしい行事の実施
- ※内閣官房水循環政策本部事務局、水の週間実行委員会及び都道府県が地方公共団体及び委員団体等へ協力依頼を行う。